

商工連プラザ

2012年
1月号
Vol.303

Linkage Of 27 Shokokais

編集／発行 東京都商工会連合会

〒196-0033 東京都昭島市東町3-6-1 産業サポートスクエア・TAMA

TEL:042-500-1140 FAX:042-500-1421

URL: <http://www.shokokai-tokyo.or.jp/>

E-mail: rengokai@shokokai-tokyo.or.jp

新年のご挨拶

東京都商工会連合会

会長 桂 教夫



平成二十四年を迎え謹んで新春のお慶びを申し上げます。

昨年我が国経済は、大きな被害をもたらした東日本大震災の影響や欧州の金融不安が続く中で、世界経済の先行き不透明感に端を発した超円高、デフレの長期化、需要の停滞や失業率の高止まりなど厳しい状況にありました。

中小・小規模企業者の皆様は、これらに加えグローバル競争激化による空洞化・内製化により受注の激減、人口構成の変化や環境問題などによる売上の減少に直面し、自助努力の限界を超える更に厳しい経営環境になっています。

一方で多摩地域は、技術ノウハウを持つ企業OBの活用や、中小企業同士が連携して互いの技術課題を助言し合い、共同して開発や販売促進に繋げる動きが出てきました。大学も地域貢献の一環で中小企業との連携に前向きに取り組んでいます。官、民、NPO法人が連

携し、防災、環境、介護・福祉などのコミュニケーションビジネスを創出する動きも出てきており大いに期待されるところです。

商工会連合会は本年二月に「設立五十周年式典」を催します。厳しい経営環境にある中小・小規模企業の皆様と一体となり、多摩と島嶼地域の二十七

商工会と連携し、これまで以上に中小・小規模企業者の経営改善と地域の振興に役職員一丸となり、全力で努めていく所存でございます。

最後に、本年が皆様にとりまして、良い年であることを祈念して、私の年頭の挨拶いたします。



CONTENTS

- 平成24年 年頭所感 東京都知事 石原慎太郎
- 「謹んで新年のお慶びを申し上げます」
- 「23年度多摩経済サミット」を開く
- 5項目について大会決議 51回商工会全国大会
- 「共にがんばろう日本！中小企業活力強化大会」を開く
- 多摩・島しょ地域のイベント 大特集 Part42



上げます くお願い申し上げます

2012年元旦 東京都商工会連合会

会長 **小林 一伸**

「地道な努力が未来を創る」

国分寺市商工会（連合会理事）

会長 **佐藤 文典**

「組織強化―活力ある商工会の実現を目指して」

三鷹商工会（連合会理事）

会長 **才神 芳美**

「現実を受け入れ 未来に向け前進」

東久留米市商工会（連合会理事）

会長 **山下 真一**

「勇猛果敢」

福生市商工会（連合会理事）

会長 **近藤 正夫**

「誠心誠意」

瑞穂町商工会（連合会理事）

会長 **浅沼 基**

「明日は必ずやってくる、前を向いて歩こう。」

三宅村商工会（連合会監事）

平成二十四年

年頭所感



東京都知事

石原 慎太郎

明けましておめでとうございます。

昨年、我が国は千年に一度といわれる東日本大震災の大禍に遭い、未曾有の被害を受けました。東京都は、いち早く被災三県に現地事務所を立ち上げるとともに人的支援を行うなど、被災地の復旧・復興を積極的に支援してきましたが、今後も全力の支援で被災地を元気づけ、日本を牽引してまいります。

今回の震災では、震源から遠く離れた東京においても、これまでの防災対策を根底から揺るがし、大都市東京の脆弱性が露呈しました。都では、一刻たりとも日本の頭脳・心臓が止まらない高度防災都市を目指し、木造住宅密集地域の不燃化や建物の耐震化を進めつつ、近所同士で助け合う「防災隣組」の活動を支援してまいります。また、エネルギーの危機に対しても、百万キロワット級の天然ガス発電所や太陽光発電システムの導入を進め、高効率・低炭素な東京産の電力を創出します。

危機を乗り越えるのは人の力であります。今こそ、次代を担う人材の育成に本気で乗り出さなければなりません。自信と誇りを持って世界と渡り合え

る人材を東京から育てるべく、海外留学を後押しするとともに、教育再生の議論を進めます。日本の国力を左右する少子化にも、都独自の認証保育所をフル活用して取り組みます。さらには、高齢者が知識・経験を最大限活かし、生涯現役で活躍できる都市を目指します。

また、東日本大震災を踏まえ「十年後の東京」計画を充実・強化し、二〇二〇年までを計画期間とする新たな長期ビジョンを、昨年末に策定しました。この計画を羅針盤とし、東京を世界に誇れる都市へと進化させてまいります。

我々日本人は、戦後、アメリカ依存の平和に安住しながら繁栄を謳歌し、物質的な豊かさで引き換えに、先人が受け継いできた日本人の価値の機軸、国民としての自負を失ってしまいました。その結果、今の日本人にとっての絶対的な価値は、物欲や金銭欲といった我欲の達成でしかありません。

一方、今回の震災では、被災者同士が支え合い、秩序正しく行動する姿が世界を瞠目させました。この大震災を機に、我々は、家族や地域の絆、そして国家というものを改めて見つめ直さなければなりません。東京は、生きた現場から問題の本質を捉え、具体的行動により範を示していきたいと思っています。

昨年、東京都は二〇二〇年のオリンピック・パラリンピックの開催都市に立候補しました。震災で大きく傷ついた日本をスポーツの力で再生し、復興した姿を世界に披露するためにも、是非とも東京への招致を実現したいと思っていますので、皆様のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

日本人一人ひとりが持てる力を発揮し、それが束ねられることで、必ずや輝かしい未来が拓けると信じています。

皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



謹んで新年のお慶びを申し

地域商工業の繁栄、躍進に一層の努力をして参ります 何卒よろし

「」は大事にしたい今年の一言



調布市商工会 (連合会理事)
会長 **原島 芳一**
「絆 めくもり」



大島町商工会
会長 **高田 元喜**
「原点に立とう!!」



狛江市商工会 (連合会理事)
会長 **栗山 昇**
「創立五十周年 新たな飛躍の年に」



西東京商工会 (連合会理事)
会長 **村田 幸三**
「絆」



小金井市商工会 (連合会副会長)
会長 **村越 政雄**
「踏み出そう!!
新しい日本への一歩を」



小平商工会 (連合会理事)
会長 **猪熊 勇一**
「地域と共にまちづくりを!」



清瀬商工会 (連合会理事)
会長 **田中 宏**
「信念の基に行動」



日野市商工会 (連合会副会長)
会長 **井上 敏夫**
「激変する社会に、地域の絆を強めて」



羽村市商工会 (連合会理事)
会長 **向笠 幸雄**
「二期一会」



稲城市商工会 (連合会理事)
会長 **番場 正夫**
「冬来たりなば春遠からじ」



八丈町商工会 (連合会理事)
会長 **浅沼 孝彦**
「互敬互励」



武蔵村山市商工会 (連合会理事)
会長 **松田 昭男**
「発想の転換で地域活性」



東大和市商工会 (連合会副会長)
会長 **加藤 政治**
「改革と思ひやり」



あきる野商工会 (連合会副会長)
会長 **鶴田 和男**
「新しい希望と次世代を育てる」



国立市商工会 (連合会理事)
会長 **内山 健治**
「大きな一歩」



東村山市商工会 (連合会理事)
会長 **山下 三郎**
「一念直達」



東京都商工会連合会
専務理事 **長谷川 登**
「変革の中に調和を」



東京都商工会女性部連合会 (連合会理事)
会長 **廣瀬 可世子**
「人生意気に感ず」



東京都商工会青年部連合会 (連合会理事)
会長 **信山 重広**
「切磋琢磨 共に夢を語ろう」



日の出町商工会 (連合会監事)
会長 **原田 貞男**
「祈り 震災復興」



小笠原村商工会
会長 **安藤 光一**
「君子は器ならず」



神津島村商工会
会長 **松江 雅彦**
「健康は富に優る」



新島村商工会
会長 **大沼 登良夫**
「共存・共栄」



昭島市商工会 (連合会理事)
会長 **平畑 文興**
「尊く、強く、正しく、そして清く、
の心で!」



観光振興で意見交換した 23 年度多摩経済サミット



課題講演をする福井昌平社長

多摩国体(スポーツ祭東京2013)を視野に観光振興について意見交換

「23年度多摩経済サミット」を開く

多摩各地の観光協会、観光企業も参加

多摩地域二十一商工会の会長、副会長、七商工会議所の会頭、副会頭らが一堂に会し、多摩地域の経済・産業の課題について意見を交わす「二十三年度多摩経済サミット」を来賓に河内豊東京都産業労働局商工部長らを迎え、十一月三十日、立川

市内のパレスホテル立川で開きました。今回は来年に多摩国体(スポーツ祭東京2013)が開催されることからメインテーマに「多摩地域の観光振興」を据え、意見交換を行いました。また、東日本大震災に対する商工会、商工会議所、市町村の復興支援取り組み状況について当連合会から調査の報告を行いました。

今回は例年の関係団体幹部らのほかに東京観光財団の幹部、多摩各地の観光協会会長、副会長、理事長、観光企業の参加も得て開催しました。サミットではまず桂教夫当連合会会長、多摩地域商工会議所代表の坂

田忠孝多摩商工会議所会頭が挨拶、続いて河内豊東京都産業労働局商工部長が来賓挨拶を行いました。桂会長は「国のため、地域社会のため、そして一番大事にしている中小企業の経営支援に資することができると考えていくことが最大の課題」、坂田会頭は「持続可能な多摩地域の明るい未来のために一致協力して経済の復興、発展を目指す」と話しました。また、河内部長は「多摩は東京にとって、ものづくりの一大拠点であると同時に、多くの観光資源に満ちた地域」と述べました。

その後、課題講演、課題発表、調査研究報告を行い、さらに、講演、発表、報告を受けて意見を交わしました。課題講演では「愛・地球博」「平成遷都1300年記念事業」のチーフプロデューサーを務めた福井昌平コミュニケーション・デザインング研究所社長が「多摩地域に求められ

る観光振興について」話し、なぜ今、観光振興が求められているか、そして海外の先駆的取組み、多摩の魅力などを紹介、その上で多摩地域が取り組むべき五つのプランについて提言をしました。

課題発表については横山英樹東京都産業労働局観光部長が「東京都の観光施策について」、館盛和青梅商工会議所会頭と野崎弘同副会頭が「青梅宿の観光まちづくり」について紹介をしました。横山部長は「地域の観光は地域を良く知る方が地域の資源を掘り起こし、それを上手に磨き上げていくことが大事」と話しました。

調査研究は多摩の観光素材について商工会、会議所などを通じて調べたものです。意見交換では観光資源開発への補助金などについて東京都へ質問が出される一方、いかに観光まちづくりが大事かなどの認識が述べられました。

第Ⅱ部として行った震災対応の報告では吉澤実当連合会事務局長が取りまとめを、また、鶴田和男副会長が自身がリーダーとなって支援を行った宮城県女川町商工会、岩手県山田町商工会へ直接、支援物資を届けた体験を話しました。

決 議

- 一、東日本大震災被災地に対する継続的な支援の実施
- 二、地方に活力を与える景気対策の実行
- 三、中小・小規模企業対策の拡充及び支援体制の強化
- 四、まちづくりの支援、地域コミュニティ維持活動の強化
- 五、新たな50年に向けた商工会の組織力の強化



東日本大震災からの復興が大きなテーマとなった第51回商工会全国大会

参加、内閣総理大臣（代理）長浜博行内閣官房副長官、枝野幸男経済産業大臣、直嶋正行民主党副代表、中曽根弘文参議院自由

5項目について 大会決議

51回商工会全国大会
3千名を超える会員が参加

政府や政党に新年度の中小・小規模企業政策への要望をうったえる、市町村商工会、都道府県商工会連合会、全国商工会連合会主催の「商工会全国大会」の五十一回大会が十一月二十四日、東京・神南のNHKホールで開かれ、全国各地から商工会長、商工会関係者三千余名が参加、内閣総理大臣（代理）長浜博行内閣官房副長官、枝野幸男経済産業大臣、直嶋正行民主党副代表、中曽根弘文参議院自由

民主党議員会長、衆参国會議員らが出席する中、意見を表明、5項目について大会決議を行いました。

大会ではまず東日本大震災で犠牲になられた方に黙とうを捧げ、続いて岩手、宮城、福島の前連会長と原発被災地商工会の双葉町商工会会長

「共にがんばろう日本!」

中小企業活力強化大会を開く

村越政雄副会長が意見発表

当連合会、東京商工会議所など中小企業関係六団体は十二月二日、東京・丸の内での東京商工会議所で中小企業の現状を直接、政治に訴えるとともに中小・小規模企業対策予算の飛躍的拡充などを求める「共にがんばろう日本! 中小企業活力強化大会」を開きました。

先行きの経済への見通しが超円高



参加者で会場が一杯となった活力強化大会（中央は村越副会長）

で心配が広がる中、大会には早朝から関係六団体の代表

自慢の

特産品・商品の紹介、PRに力

「2011ニッポン全国物産展」で3商工会と会員事業所



販売・PRに力を入れた全国物産展

“地域力宣言”のもと日本各地の特産品、工芸品を展示、販売する、全国商工会連合会

主催の恒例の「2011ニッポン全国物産展」が11月25日から27日までの3日間、東京・東池袋の池袋サンシャインシティで開かれました。東京都コーナーには小笠原村商工会、三宅村商工会、八丈町商工会、「お茶の静海苑」、「菓匠志むら」、「m-chiffon」、「楽楽食品」が出展、試食・試飲を勤めながら自慢の特産品・商品を紹介、PRに力を入れました。

また、前回から始め、好評を呼んでいる「ご当地おやつランキング」には福生市商工会が「福生ドッグ」を出品、ドッグの販売・PRに精力的に取り組みました。全体では4百社が出品をしました。

ら、席が足りなくなる五百十三人が出席、次々と四団体の代表が登壇し、意見発表。来賓の民主党、自由民主党、公明党の各国会議員、都議会議員へ

へ陳情行動を行いました。

が現地からの報告を行いました。次に国歌を斉唱、この後、石澤義文大会会長（全国連会長）が挨拶、「被災地をはじめ地方に活力を与える内需を喚起する大型景気対策を是非とも実現してほしい」とうたったえました。大会はこの後、内閣総理大臣と枝野経済産業大臣とが祝辞を述べました。続いて川瀬重雄大会副会長が意見を表明、拍手で決議を採択しました。決議は別掲の通りです。

窮状や、政策への要望を訴えました。当連合会からは村越政雄副会長が自身の会社が東日本大震災で被害に会い、大変な苦労で復興した体験を話し、この体験から「復興した」元気な企業がさらにパワーがつくような施策を是非、お願いしたい」と迫りました。大会は四人の意見発表の後、「2020年東京オリンピック・パラリンピック招致の実現」という特別要望事項を含め「東日本大震災からの早期復興!」など五項目を満場の拍手により決議しました。

最後に当連合会の桂教夫会長が閉会の挨拶を述べ、もっと六団体の交流を深めたいとの希望を話しました。決起集会終了後には東商、当連合会、東京都中小企業団体中央会が都



成長著しいアジアも見据えた「産業交流展」

初日の二十六日に行われた開会式には桂教夫会長も出席、佐藤広都副知事

同展は東京都、東京商工会議所、当連合会、東京都中小企業団体中央会、東京都中小企業振興公社などが主催して平成十年度から開いており、十四回目となる今回は昨年実績を大幅に上回る八百九十六社・団体が八百七十三小間に自慢の技術、製品などを出品しました。

瑞穂町商工会、瑞穂ファントム工場、東久留米市商工会工業部会が出展

取り引きの拡大に力

産業交流展 2011

首都圏の中小企業の優れた技術、製品を一堂に展示、受発注、企業間連携、情報収集などビジネス機会を生み出していくことを目指した「第14回中小企業による国内最大級のトレードショー産業交流展2011」が十月二十六日から三日間、東京ビッグサイトで開かれ、商工会からも瑞穂町商工会「瑞穂ファントム工場」、東久留米市商工会工業部会が出展、会員企業の取り引き拡大に力をいれました。

昭島市の「てあて」が「2011年度東京都経営革新優秀賞」の優秀賞、国分寺市の「エム・アイ・エル」も奨励賞

産業交流展2011で東京都が表彰

当連合会が説明・相談会を開催し、理解を深めてもらうとともに、「承認申請の支援をしている」「経営革新計画」の「2011年度東京都経営革新優秀賞」の表彰式が十月二十七日、

創立50周年の記念式典
(演壇に立つのは挨拶をする原島会長)

調布市商工会は創立五十周年を迎え、十一月二十四日、調布駅前の調布クレストンホテルで記念式典・記念祝賀会を開きました。

調布市商工会が創立

50周年

3百名が式典・祝賀会で祝う

調布市商工会は創立五十周年を迎え、十一月二十四日、調布駅前の調布クレストンホテルで記念式典・記念祝賀会を開きました。

式典で式辞に立った原島芳一会長は五十年を振り返り「創立当時は会員数は六百八十七名。現在は三千二百五十名を数える大規模商工



表彰状を手にする「経営革新優秀賞」の受賞者

このほかに多摩地区では欠陥検査画像処理装置システムの製造・販売を行う国分寺市の「エム・アイ・エル」が「医と食の安全をサポートするアルミ包装封止検査装置の開発と販売」で奨励賞に選ばれました。

東京・ビッグサイトで開催中の産業交流展2011で行われ、当連合会がエントリーをした、昭島市の健康保険による在宅マッサージ業「てあて」の「マッサージ師独立開業支援事業の推進」が優秀賞を受賞しました。

会に成長した」と述べるとともに「『真に求められる商工会づくり』へ向け、役職員一丸となりこの難局を乗り越えて行く」と新たな決意を披露しました。続いて表彰に移り、功労、永年役員、優良従業員、永年勤続従業員などの各表彰を行いました。式典では市長、議長、関係機関の代表、桂当連合会会長が次々と来賓挨拶に立ち、お祝の言葉を話しました。

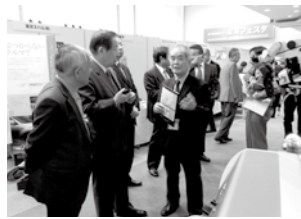
祝賀会では開宴のことはや来賓の祝辞のあと鏡開きをし、荻本貞臣前会長が乾杯の音頭をとり、桐朋学園卒業生が弦楽器を奏でる中、和やかな懇談を繰り広げました。

66の企業・団体が出展

三鷹、小金井市商工会、武蔵野商工会議所が初めて「武蔵野エリア産業フェスタ」を開く

三鷹商工会、小金井市商工会、武蔵野商工会議所は十一月十八、十九の両日、三鷹市内の三鷹産業プラザで初めて「武蔵野エリア産業フェスタ」を開催しました。宅地化、住宅化で課題を抱えているものの、武蔵野エリアは精密を中心とした、歴史のある工業集積がある一方、新たに情報関連産業の集積も進み始めてい

情報交差点



今年も来年も計画されている「武蔵野エリア産業フェスタ」

ることから、同フェスタは域内企業の交流と連携、さらに招待した大手企業とのマッチングを通じて産業の底上げに弾みをつけていこうという狙いです。

同フェスタは広域連携事業として東京都の支援を受けて実施。フェスタには三十一の製造業、二十五のIT系、十の行政・支援団体と合計六十六の企業・団体が出展しました。

開会式では佐藤文典、村越政雄、稲垣英夫の主催三団体のトップと、清原慶子三鷹市長ら三市の市長（代理：小金井市、武蔵野市）が挨拶、

それぞれが目的やその意義について話しました。

会場には桂教夫当連合会会長も訪れ、ブースごとに足を止めるなど見て回りました。会場ではカタログを熱心に集める姿、係員に説明を求める姿が随所に見られました。三団体では今年も来年も開いていく計画です。

商工会地域の特産品、並びに被災地の物産全てを完売

「産業サポートスフェア・TAMA」の「ウエルカムデー」

東京都立産業技術研究センター多摩テクノプラザ、東京都中小企業振興公社多摩支社など東京都の農・商・工の支援機関五つが集結する「産業サポートスフェア・TAMA」の「ウエルカムデー」が十月二十一、二十二の両日、開かれ、五機関の一つである当連合会も二十一日、商工会地域の特産品、並びに東日本大震災被災地の物産の販売を行うなどウエルカムデー入場者を歓迎しました。被災地の物産販売は東日本大震災被災地支援の一環から実施したものです。

商工会地域の特産品販売では島しょ地域のクサヤ、唐辛子、明日葉加工品、あきる野市の秋川牛カレー、ニンジン

ジャムなどを、また、被災地の物産販売では中心市街地全てを失った岩手県山田町の醸造会社の醤油を取り寄せて販売をしました。結果は特産品、物産ともに全て完売でした。

「ぽかぽかプロジェクト」を強力に推進
岩手県商工会女性部連合会へ「沢山の湯たんぽとアイロン」を提供
東京都商工会女性部連合会

東京都商工会女性部連合会、当連合会、東京都商工青年部連合会は東日本大震災で引き続き仮設住宅での避難所生活を余儀なくされている方々に本格的な冬に向けて少しでも暖かな生活を送っていただく、と強力に「商工会女性部「ぽかぽか」プロジェクト」に取り組み、沢山の湯たんぽとアイロンを支援物資として岩手県商工会女性部連合会に提供しました。

「経営革新」「専門家派遣」「震災対策」など事業をPR
当連合会が後援の「江戸・TOKYO」とテクノの融合展2011

当連合会が後援をする東京信用保証協会主催の「江戸・TOKYO」とテクノの融合展2011が十一月二日、東京・丸の内線の東京国際フォーラムで開かれ、当連合会もブースを構えて「経営革新」「専門家派遣」「震災対策」など当連合会の事業のPRをしました。

同展には当連合会の経営革新の専門家二人がブースに常駐、「商工会は事業の『こんな時』をバックアップします」の看板や、「やりまじょう経営革新ご相談下さい」などのポスターを掲げるとともに来場者に事業を紹介したパンフレットを配布し、事業の利用を呼び掛けました。出展

1千件を超えるマッチング、229社・団体が出展
「第12回ビジネスフェア from TAMA」

規模は二百七十四中小企業・支援機関と過去最多になりました。

融合展には桂教夫当連合会会長も出席、開会式で横山洋吉東京信用保証協会理事長、来賓の前田信弘東京都産業労働局長らとともにオープニングのテープカットに臨み、さらに各ブースを熱心に見て回りました。

当連合会、多摩地域商工会が後援をする西武信用金庫、首都圏産業活性化協会主催の「第12回ビジネスフェア from TAMA」が十一月十七日、東京・西新宿のNSビルで開かれ、当連合会も出展、経営革新、緊急エキスパート事業など事業の紹介をしました。また、開会式に桂教夫会長も出席、照井恵光関東経済産業局長に続いて来賓挨拶。さらにテープカットを行いました。

今回はテーマを「世界に羽ばたけ、made in JAPAN」とし、海外展開を計画する中小企業をサポートする「グローバルコーナー」を設けた一方、東日本大震災被災地の支援から「東北地方応援コーナー」も設置、広域なマッチングも行いました。

全体では東北地方などからの出展を含め二百二十九社・団体が出展をしました。マッチングは一千件を超える数となりました。

3000部の「節電事例集」を作成 業種・業態別に最小費用で最大の効果 を出す方策を紹介 希望者に頒布



喫緊の課題に応える節電事例集

電力不足の懸念や環境への配慮から今冬も省エネ・節電が求められています。この省エネ・節電の課題を解決、一層、企業基盤を強固にしたいと、と当連合会は「節電事例集」3千部を作成、商工会等を通じて希望者への頒布を始めました。

事例集では製造業、サービス業、販売業など様々な業態の40社が昨夏、実施をした節電や環境配慮への取り組みを紹介、他の事業者の皆さんに参考にしていただいて取り組みの輪を広げていこうと作成しました。

当連合会は昨夏、中小企業診断士らの専門家が店舗、工場、事務所など115社を訪問し、省エネ・節電診断を実施、これに基づき1社ごとに節電行動計画を作成する支援を行いました。これは100社を予定したところ115社と計画を上回る応募があった、事業者皆様の関心の高かった事業です。

事例集の内容は大きく三つです。一つは115社の診断はどのような内容となり、診断を下し、対策を取ったかの全般的な内容です。二つ目は小規模事業者が実際に取り組んでいる省エネ・節電対策です。三つ目は診断を受けてどのように実施していこうとしているかの計画です。事例集では業種・業態別に最小費用で最大の効果出す方策を紹介しています。是非、ご利用下さい。希望者は最寄りの商工会にお問い合わせ下さい。

「第十一回たまた工業交流展」が二月二十四、二十五の両日、多摩地域の新しい産業総合支援機関「産業サポートスクエア・TAMAM」の東京都立多摩職業能力開発センター人材育成プラザで開かれます。多摩地域の製品・技術、情報開発、サービスを紹介します。多摩地域最大の工業展「たまた工業交流展」はこれまで立川市の国営昭和記念公園みどりの文化ゾーン花みどり文化センターを中心に開いてきました。

会場となる産業サポートスクエア・TAMAMには東京都中小企業振興公社多摩支社、東京都知的財産総合センター多摩支援室、当連合会、東京都立産業技術研究センター多摩テクノプラザ、東京都農林水産振興財団、そして会場となる東京都立多摩職業能力開発センターなどがあり、東京都の支援機関の新たな集積となっています。これら機関と出展企業、来場者らとの一層の交流促進が期待できるためサポートスクエアTAMAMを新たな会場として開催していくことにしました。

同展には百三十五企業・団体が百三十七のブースを使って工業部品の加工技術・製品、情報関連・ソフト開発・環境関連製品のPR・展示を行います。また、ビジネスマッチング、各種相談コーナーも開きます。

産業サポートスクエア・TAMAMで2月24、25の両日、「第11回たまた工業交流展」会場を国営昭和記念公園から移して開催

多摩・島しょ地域のイベント 大特集

Part 42

2月▶3月

	日程	イベント名	会場	内容	主催者・問合せ先
2月	10日(金)～18日(土)	伊豆大島椿まつり「夜まつり」	元町港 船客待合所	スーパーあんご娘のダンスパフォーマンス、御神火太鼓の披露、大島特産品の販売	大島観光協会 04992-2-2177
	10日(金)～23日(木)	第57回伊豆大島椿まつり(大島町) 椿の花による「おもてなし」	三原山頂口エリア	椿の特別展示、写真の展示、湯茶の接待を行う	
	11日(土・祝)	椿の女王コンテストと椿の女王ミス大島撮影会	大島公園椿プラザ	伊豆大島の伝統衣装を着たあんご娘の中から「椿の女王」を選出する	
	19日(日)午後2時～	第4回羽衣の堰歌謡コンテスト(羽村市)	羽村市生涯学習センター「ゆとろぎ」	羽村の堰を歌ったご当地ソング「羽衣の堰」の歌唱力を競う。参加申し込み(定員35名)は1月6日まで。鑑賞無料、250名収容	「羽衣の堰」歌謡コンテスト実行委員会(羽村市商工会内) 042-555-6211
3月	3日(土)	第2回三宅島レディースラン(三宅村)	阿古小体育館	阿古小体育館出発の10k、5k、3kの周回マラソン大会	三宅島レディースラン実行委員会暫定事務局 04994-5-0316
	17日(土)～18日(日)	八丈島産業祭(八丈町)	八丈町コミュニティセンターほか	漁業、農業、商工業者による特産品等の展示・販売等	八丈島産業祭実行委員会 04996-2-1221
	27日(火)～4月10日(火)	はむら花と水のまつり2012(前期:さくらまつり)(羽村市)	羽村堰周辺ほか	桜のライトアップ、野点、足湯等のイベントを行うほか、玉川上水に沿って模擬店が出店する予定	羽村市観光協会 042-555-9667
	未定	火の山ウォーキング(三宅村)	雄山	雄山登山道を歩き、三宅島の大自然に触れるツアー	火の山ウォーキング実行委員会(三宅村役場観光産業課) 04994-5-0920



再生紙を使用しています。

念のため主催者に問い合わせをして日にち、会場をご確認の上、お出掛け下さい。